

Unit 1	School Life Around the World	題材	世界の学校
		教科書ページ	p.9-17
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。</li> <li>・読んだ記事について、意見を発表することができる。</li> </ul>	配当時間	9時間
		学習時期	4月
言語材料	基本文 Part 1 The classes <b>are taught</b> in English or Arabic. Part 2 <b>Let me show</b> you my school. Our teachers <b>help us prepare</b> for performances. Part 3 Ms. Brown <b>told us (that)</b> it was an interesting website. 語句 bike, uniform, the U.A.E., mosque, taught, tablet, device, bangle, Easter egg, Russia, let, twice, skill, encourage, confidence, carry, count, handout, fix, doghouse, website, across, stomach, brain, knock, enter, shut, rule, Rwanda, close, equator, thousand, hill, enough, schedule, divide, recess, Swahili, official, kindergarten, multilingual, shift 連語 walk to school let me ~ put on a play close to ~ at night That is because ~. divide ~ into ... need to ~ 表現 For example, ~ Did you know that ~?		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ア) 相づちを打つ (ウ) 説明する (オ) 質問する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文の構文について正確に理解している。	○	○	○	○	○
	受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文を使ったスピーチや会話から、ものの説明, 人が手伝ってくれたこと, 人が言ったことなどを聞き取ることができる。	○				
	受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文を使って、ものの説明, 人が手伝ってくれたこと, 人がよく言うことなどを伝え合うことができる。			○		
	受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文を使って、ものの説明, 人が手伝ってくれたこと, 人がよく言うことなどを書くことができる。					○
思考・判断・表現	日本の学校との違いを知るために、学校紹介の記事から、その国の学校生活の様子を読み取り、適切に理解している。		●			
	外国の学校の様子について印象に残ったことを伝えるために、読んだ記事の内容と自分の意見を適切に発表している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	学校紹介の記事を読んで、印象に残ったことなどを積極的にメモしている。		■			
	積極的に自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりしようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.9	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇Play Back the Story ◆写真を見てストーリーの話題を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.10	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Play Back the Story ◆p.10の本文を読んで、内容を理解する。 ◆受け身の文の意味と形と使い方を確認する。 ◆p.10の本文を音読する。	○p.10の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.11	受け身の文を使ったスピーチを聞いたり、受け身の文を使って話したり書いたりする。 ◇Play Back the Story ◆Listen スピーチを聞いて、その人が見せたものとそれについての説明を聞き取る。 ◆Speak ペアになり、写真に写っているものについてたずねたり説明したりする。 ◆Write 写真に写っているものの説明を書く。	○受け身の文を使ったスピーチから、その人が見せたものとその説明を聞き取ることができる。 ○受け身の文を使って、ものを説明することができる。 ○受け身の文を使って、ものを説明する文を書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.12	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.12の本文を読んで、内容を理解する ◆let/help+人・もの+動詞の原形の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.12の本文を音読する。	○p.12の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.13	let/help+人・もの+動詞の原形を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 会話を聞いて、誰にどんなことを手伝ってもらったかを聞き取る。 ◆Speak ペアになり、自分のことを手伝ってくれた人のことを伝え合う。 ◆Active Words 人間関係を表す語彙を確認する。 ◆Write 自分と友達が話した内容を書く。	○help+人+動詞の原形を使った会話から、誰にどんなことを手伝ってもらったかを聞き取ることができる。 ○help+人+動詞の原形を使って、自分を手伝ってくれた人のことを伝えることができる。 ○help+人+動詞の原形を使って、自分と友達が話した内容を書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.14	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.14の本文を読んで、内容を理解する。 ◆<tell/show+人+(that+)文>の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.14の本文を音読する。	○p.14の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.15	<tell+人+that>+文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 会話を聞き、先生が教えてくれたことを聞き取る。 ◆Speak ペアになり、自分の身の回りの誰かによく言われることを伝え合う。 ◆Write 身の回りの誰かによく言われることを書く。	○<tell+人+that>+文を使った会話から、先生が教えてくれたことを聞き取ることができる。 ○<tell+人+that>+文を使って、身の回りの誰かによく言われることを伝えることができる。 ○<tell+人+that>+文を使って、身の回りの誰かによく言われることを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.16	Goal 外国と日本の学校の違いを探ろう ルワンダの学校紹介のブログを読んで内容を理解する。 ◇帯活動 ◆Read ブログを読んで、(1)~(4)の質問の答えになる文に線を引き、その内容を捉える。 ◆日本の学校と違うと思うところを抜き出して発表する。 ◆日本の学校との違いについて感想を話し合う。	●日本の学校との違いを知るために、学校紹介の記事を読み、その国の学校生活の様子を理解している。 (ワークシート)
9	p.17	3か国の学校紹介の記事について、意見を発表する。 ◇帯活動 ◆Speak 3か国の記事を読み直し、いちばん印象に残ったことや気づいたことをメモする。 ◆メモを参考にして、グループ内で意見を伝え合う。 ◆友達の意見を聞き、いちばん印象的だった学校を発表する。 ◆活動を振り返って自己評価をする。	■記事を読んで、印象に残ったことや気づいたことを積極的にメモしている。 ●読んだ記事の内容と自分の意見を適切に発表している。 ■積極的に自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりしようとしている。 (ワークシート)

Daily Life 1	ディスカッション	教科書ページ	p.20
		配当時間	1 時間
教材の目標	・話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。	学習時期	5 月
言語の使用場面 / 働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 (エ) 意見を言う		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	受け身の文や I think ～, would like to ～などの言い方を正確に理解している。	○				
	話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。	○				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.18	<p>話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取る。</p> <p>◇ 帯活動</p> <p>◆ 修学旅行の行き先についての話し合いであることを理解し、A～H の場所について予備知識をもつ。</p> <p>◆ 4 人の生徒の提案を聞き、提案した場所を A～H から選ぶ。</p> <p>◆ もう 1 度それぞれの生徒の提案を聞き、その場所を提案する理由を聞き取って表にメモする。</p> <p>◆ 4 人の生徒が提案した場所とその理由を確認し、その後の話し合いの結論がどうなるかを予想する。</p> <p>◆ その後の話し合いを聞き、最終的にどこへ行くことになったかを確認する。</p>	<p>○ 話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 2	Our School Trip		題材	修学旅行
			教科書ページ	p.21-29
単元目標	・会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 ・おすすめの場所について、教え合うことができる。		配当時間	9時間
			学習時期	5月
言語材料	基本文 Part 1 We <b>have finally arrived</b> in Miyajima. Part 2 <b>Have you checked</b> your photos <b>yet</b> ? —Yes, I <b>have</b> . / No, I <b>haven't</b> . The tram <b>hasn't left yet</b> . Part 3 <b>Have you ever seen</b> him like that? —Yes, I <b>have</b> . / No, I <b>never</b> . I've never <b>seen</b> such a beautiful sunset. 語句 scenery, sunset, shrine, afraid, wooden, perfect, harmony, amusement, amusement park, busy, tram, yet, hotel, left, hurry, feed, fed, report, done, already, ever, seen, change, lately, return, deal, been, person, several, recommend 連語 be afraid of ~ not ~ at all catch up with ~ such a ~ How many times ~? 表現 Come on, guys. Wait a minute. Hurry up. What's up with ~? Here you are. It's no big deal.			
言語の使用場面／働き	使用場面	(ア) 学校での学習や活動		
	働き	(ア) 話し掛ける (イ) 礼を言う (ウ) 描写する (オ) 質問する, 命令する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	現在完了形の「完了」や「経験」の用法について正確に理解している。	○	○	○		○
	現在完了形の「完了」や「経験」の用法を使った会話から、既にしたこと、まだしていないこと、経験したことなどを正確に聞き取ることができる。	○				
	現在完了形の「完了」や「経験」の用法を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	現在完了形の「完了」や「経験」の用法を使って、既にしたことや経験したことなどを伝えたりたずね合ったりすることができる。			○		
	現在完了形の「完了」や「経験」の用法を使って、既にしたことや経験したことなどを書くことができる。					○
思考・判断・表現	旅行するのによい場所を知るために、会話からおすすめの場所やそこでしたことなどを聞き取り、適切に理解している。	●				
	自分の経験からよいと思うものを友達にすすめるために、おすすめの場所やそこでしたことなどを適切な表現を使って伝え合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	旅行するのによい場所を知るために、会話からおすすめの場所やそこでしたことを聞き取るようとしている。	■				
	積極的におすすめの場所やそこでしたことなどを伝えるとともに、友達から詳しい情報が得られるように質問しようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.21	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆写真を見たり、自分たちの修学旅行で起こりそうなことを考たりして、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.22	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.22の本文を読んで、内容を理解する。 ◆現在完了形の「完了」の肯定文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.22の本文を音読する。	○p.22の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.23	<p>現在完了形の「完了」の肯定文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 電話での会話を聞いて、その人が既にしたことを聞き取る。</p> <p>◆Speak 自分が「ちょうど終わったこと」と「したいこと」を決め、友達と電話でのやり取りを演じる。</p> <p>◆Write 自分と友達がした会話を書く。</p>	<p>○現在完了形の「完了」の肯定文を使った会話から、その人が既にしたことを聞き取ることができる。</p> <p>○現在完了形の「完了」の肯定文を使って、電話でのやり取りを演じることができる。</p> <p>○現在完了形の肯定文を使って、自分と友達がした会話を書くことができる。(観察・ワークシート)</p>
4	p.24	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.24の本文を読んで、内容を理解する</p> <p>◆現在完了形の「完了」の疑問文と否定文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.24の本文を音読する。</p>	<p>○p.24の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。(観察・ワークシート)</p>
5	p.25	<p>現在完了形の「完了」の疑問文や否定文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて、その人が既にしたこととまだしていないことを聞き取る。</p> <p>◆Speak 現在完了形の疑問文を使って、今日既にしたことを友達とたずね合う。</p> <p>◆Write 友達が既にしたこととまだしていないことを書く。</p>	<p>○現在完了形の疑問文を使った会話から、その人が既にしたこととまだしていないことを聞き取ることができる。</p> <p>○現在完了形の疑問文を使って、今日既にしたことをたずね合うことができる。</p> <p>○友達が既にしたこととまだしていないことを書くことができる。(観察・ワークシート)</p>
6	p.26	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.26の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆現在完了形の「経験」の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.26の本文を音読する。</p>	<p>○p.26の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。(観察・ワークシート)</p>
7	p.27	<p>現在完了形の「経験」の用法を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて、その人が経験したことを聞き取る。</p> <p>◆Speak 現在完了形を使って、経験したことをたずね合い、さらに会話を続ける。</p> <p>◆Write 自分と友達が話したことを書く。</p>	<p>○現在完了形の「経験」の用法を使った会話から、その人が経験したことを聞き取ることができる。</p> <p>○現在完了形を使って、経験したことをたずね合い、会話を続けることができる。</p> <p>○現在完了形を使って、自分と友達が話したことを書くことができる。(観察・ワークシート)</p>
8	p.28	<p><b>Goal</b> 経験したことを伝え合おう</p> <p>会話から、おすすめの場所やそこでしたことなどを聞き取るとともに、友達にすすめるものを考える。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話から、その人のおすすめの場所、そこでしたこと、食べたものなどを聞き取る。</p> <p>◆会話から、人にものをすすめるときに使える表現を聞き取る。</p> <p>◆Speak 友達にすすめたいものを考えて表にメモする。</p>	<p>●旅行するのによい場所を知るために、会話からおすすめの場所やそこでしたことなどを聞き取り、適切に理解している。</p> <p>■会話からおすすめの場所とそこでしたことなどを聞き取ろうとしている。(ワークシート)</p>
9	p.29	<p>おすすめの場所やそこでしたことなどを教え合う。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Speak 友達におすすめの場所やそこでしたことを伝える。友達の「おすすめ」を聞くときは、質問をして詳しい情報を得る。</p> <p>◆4人の友達の「おすすめ」を聞き、自分がよいと思ったものを選んで発表する。</p> <p>◆活動を振り返って自己評価をする。</p>	<p>●友達にすすめるために、おすすめの場所やそこでしたことを、適切な表現を使って伝え合っている。</p> <p>■友達から詳しい情報が得られるように、積極的に質問している。(ワークシート)</p>

Daily Life 2	留守番電話	教科書ページ	p.30
		配当時間	1時間
教材の目標	・留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。	学習時期	6月
言語材料	語句 passport, rich, buffet, Singapore, paradise, starlight		
言語の使用場面/ 働き	使用場面 (イ) 電話での対応 働き (ア) 話し掛ける (オ) 依頼する		

評価規準		L	R	SI	SP	W
知識・技能	電話での特有な表現や現在完了形, let+人+動詞の原形などについて正確に理解している。	○		○		
	留守番電話の伝言を聞いて、用件を聞き取ることができる。	○				
	伝言の用件に応じたやり取りをしたり、会話の続きを自分たちで考えてやり取りをしたりすることができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.29	留守番電話の伝言から用件を聞き取り、用件に応じたやり取りを演じたり、自分たちで考えたやり取りをしたりする。 ◇帯活動 ◆留守番電話の伝言を聞き、用件に合う選択肢を選ぶ。 ◆伝言の用件に応じたやり取りを聞いて、内容を理解する。 ◆ペアになり、教科書に示されたやり取りを演じる。 ◆ペアで、ホテルのリストを参考にして、会話の続きである、泊まるホテルを決める場面のやり取りを考える。 ◆ペアでオリジナルスキットを演じる。	○留守番電話の伝言を聞いて、用件を聞き取ることができる。 ○用件に応じたやり取りをしたり、会話の続きを自分たちで考えてやり取りをしたりすることができる。 (観察・ワークシート)

Unit 3	Lessons From Hiroshima	題材	平和学習
		教科書ページ	p.31-39
単元目標	・文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 ・読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。	配当時間	9時間
		学習時期	6月
言語材料	<p>基本文 Part 1 The dome <b>has been</b> like this <u>for</u> over 70 years. <b>How long have you been</b> a volunteer? — I've <b>been</b> a volunteer <u>since</u> 2000.</p> <p>Part 2 I've <b>been</b> thinking about our trip to Hiroshima.</p> <p>Part 3 <b>It's</b> important <u>for us</u> <b>to learn</b> about the past. <b>It's</b> also important <b>to think</b> about creating a peaceful world.</p> <p>語句 monument, atomic, bomb, atomic bomb, peace, memorial, dome, remind, horror, reminder, mission, anyone, since, known, childhood, realize, bombing, determined, especially, young, tragic, create, better, promote, half, hour, boyfriend, century, panda, valuable, war, met, though, victim, survivor, generation, peaceful, however, meal, impossible, necessary, alone, brought, without, personal, American, sense, pain, collect, money, inspiration, taken</p> <p>連語 remind ~ of... work for ~ for a long time be determined to ~ get older year by year pass ~ on bring up ~ pass down ~ think of ~</p> <p>表現 Does anyone have any questions? How long ~? What can we do to ~?</p>		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ウ) 説明する, 報告する (エ) 意見を言う (オ) 質問する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	現在完了形の「継続」、現在完了進行形, It is ~(for 人)+to+動詞の原形の構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	現在完了形の「継続」、現在完了進行形, It is ~(for 人)+to+動詞の原形を使った会話から、継続していることや意見や判断等を正確に聞き取ることができる。	○				
	現在完了形の「継続」、現在完了進行形, It is ~(for 人)+to+動詞の原形を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読することができる。		○			
	現在完了形の「継続」、現在完了進行形, It is ~(for 人)+to+動詞の原形を使って、継続していることや自分の意見や判断などを伝え合うことができる。			○		
	現在完了形の「継続」、現在完了進行形, It is ~(for 人)+to+動詞の原形を使って、継続していることや自分の意見や判断などを書くことができる。					○
思考・判断・表現	ピースボランティアの西村さんのことを知るために、手記から西村さんの経験や心情などを読み取り、適切に理解している。		●			
	自分の考えや感想を友達に伝えるために、考えや感想を整理して、その理由といっしょに適切に発表している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	西村さんの経験や心情を積極的に読み取ろうとしている。		■			
	友達の発表のよいところを積極的に見つけようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.31	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆写真を見て、ストーリーの話題を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.32	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.32の本文を読んで、内容を理解する。 ◆現在完了形の「継続」の用法の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.32の本文を音読する。	○p.32の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.33	<p>現在完了形の「継続」の用法を使った会話を聞いたり、現在完了形の「継続」の用法を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 外国の人たちへのインタビューを聞いて、日本の滞在期間や継続していることを聞き取る。</p> <p>◆Speak 現在完了形を使って、あることを継続している期間などをたずね合う。</p> <p>◆Write 自分と友達の情報を対比して書く。</p>	<p>○現在完了形の「継続」の用法を使ったインタビューから、その人が継続していることを聞き取ることができる。</p> <p>○現在完了形を使って、継続している期間などをたずね合うことができる。</p> <p>○現在完了形を使って、自分と友達が継続していることを書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
4	p.34	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.34の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆現在完了進行形の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.34の本文を音読する。</p>	<p>○p.34の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
5	p.35	<p>現在完了進行形を使った会話を聞いたり、現在完了進行形を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 会話を聞き、人が続けていることなどを聞き取る。</p> <p>◆Speak 現在完了進行形を使って、彫刻や絵画の中の人物などのせりふを考えて言う。</p> <p>◆Write 自分が考えたせりふを書く。</p>	<p>○現在完了進行形を使った会話から、人が続けていることなどを聞き取ることができる。</p> <p>○現在完了進行形を使って、人物などのせりふを考えて言うことができる。</p> <p>○自分が考えたせりふを書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
6	p.36	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.36の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆It is ~ (for 人)+to+動詞の原形の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.36の本文を音読する。</p>	<p>○p.36の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
7	p.37	<p>&lt;It is ~ (for 人)+to+動詞の原形&gt;を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて、いくつかの事柄についてのその人の意見や判断を聞き取る。</p> <p>◆Speak It is ~ (for 人)+to+動詞の原形を使って、いくつかの事柄についての自分の意見や判断を伝え合う。</p> <p>◆Write 自分にとって「難しいこと」「大切なこと」「わくわくすること」を書く。</p>	<p>○It is ~ (for 人)+to+動詞の原形を使った会話から、いくつかの事柄についての意見や判断を聞き取ることができる。</p> <p>○It is ~ (for 人)+to+動詞の原形を使って、いくつかの事柄についての自分の意見や判断を伝え合うことができる。</p> <p>○自分にとって「難しいこと」などを書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
8	p.38-39	<p><b>Goal</b> 手記を読んで、感想を発表しよう</p> <p>ピースボランティアの西村さんの手記を読んで、西村さんの経験や心情などを読み取り、感想をもつ。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Read 手記を読んで、教科書の(1)~(5)に合う文に線を引く。</p> <p>◆西村さんの経験や心情で印象に残ったところを発表する。</p>	<p>●西村さんのことを知るために、手記から西村さんの経験や心情などを読み取り、適切に理解している。</p> <p>■西村さんの経験や心情を積極的に読み取ろうとしている。 (ワークシート)</p>
9	p.39	<p>手記を読んで考えたことや感じたことを、その理由などといっしょに発表する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Speak 自分の考えや感想、理由、心に残った言葉などを整理して、発表のためのメモを作る。</p> <p>◆グループごとにそれぞれ発表し、お互いの発表のよかったところを伝え合う。</p> <p>◆活動を振り返って自己評価をする。</p>	<p>●自分の考えや感想を友達に伝えるために、考えや感想を整理して、その理由といっしょに適切に発表している</p> <p>■友達の発表のよいところを積極的に見つけようとしている。 (ワークシート)</p>

Active Grammar 1	現在完了形／現在完了進行形	教科書ページ	p.40-41
		配当時間	2時間
教材の目標	・現在完了形と現在完了進行形を理解することができる。	学習時期	6月
言語材料	【復習】 現在完了形 <完了><経験><継続> 現在完了進行形		

	<b>評価規準</b>
知識	現在完了形や現在完了進行形の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。
	Unit 2, 3のストーリーを読んで、現在完了形や現在完了進行形を使った文に○印を付け、それらがどんな意味を表しているかを確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.40-41	<p><b>現在完了形の「完了」「経験」の用法を理解する。</b></p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Unit 2, 3のストーリーから現在完了形と現在完了進行形の使用場面と意味を理解する。</p> <p>◆現在完了形の「完了」「経験」の肯定文、疑問文、否定文の形を理解する。</p> <p>◆「完了」「経験」のそれぞれの用法で、よく使う語があることを理解する。</p> <p>◆現在完了形の用法を練習する。</p> <p>◆過去形の文と現在完了形の文を比べて、内容の違いを考える。</p>	
2	p.40-41	<p><b>現在完了形「継続」や現在完了進行形を理解し、現在完了形や現在完了進行形の使い方に慣れる。</b></p> <p>◇帯活動</p> <p>◆現在完了形「継続」と現在完了進行形の文の形を理解する。</p> <p>◆状態動詞と動作動詞を区別し、現在完了形の「継続」と現在完了進行形の違いを理解する。</p> <p>◆現在完了進行形の用法を練習する。</p> <p>◆日本語の「～している」という文に合う英文を考え、英語の時制について理解を深める。</p> <p>◆Grammar Huntの活動をする。</p>	<p>○Unit 2, 3のストーリーを読んで、現在完了形や現在完了進行形を使った文に○印を付け、その意味を確かめることができる。</p> <p style="text-align: right;">（観察・ワークシート）</p>

Let's Read 1	From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi		題材	日記
			教科書ページ	p.42-45
教材の目標	・日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことなどを伝え合うことができる。		配当時間	4時間
			学習時期	7月
言語材料	語句 commute, steam, steam train, unfortunately, delay, worried, ceremony, sigh, relief, self-study, cross, bridge, frightening, noise, thick, smoke, rise, rose, fire, burn, intensely, dig, dug, hole, bury, glass, loquat, pea, potato, sweet potato, hide and seek, branch, grade, average, excellent, toy, plane, road, bran, opponent, packet, bait, end 連語 happen to ~ go on at last for the first time right away tidy up ~ get wet through go out a packet of ~			
言語の使用場面／働き	働き	(ウ) 報告する		

		評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	接続詞 when, after や受け身の文, 不定詞の副詞的用法などを正確に理解している。			○			
	日記を読んで内容を理解することができる。			○			
思考・判断・表現	戦争中の中学生の考えや生活の様子を知るために、日記から出来事や気持ちを読み取っている。			●			
	自分との類似点・共通点や筆者について想像したことについて、書かれていることと自分の考えを整理し、伝え合っている。				●		
主体的に学習に取り組む態度	戦争中の中学生の考えや生活の様子を知るために、日記から出来事や気持ちを読み取ろうとしている。			■			
	自分との類似点・共通点や筆者について想像したことについて、書かれていることと自分の考えを整理し、積極的に友達と伝え合おうとしている。				■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.42-45	戦争中の中学生の考えや生活の様子を想像した後、日記を読んで、おおよその内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆Before You Read 戦争中の中学生の生活の様子を想像し、日記の内容を推測する。 ◆河本くんの日記をグループで役割分担して読む。 ◆担当部分の要約をグループで伝え合い、おおよその内容をつかむ。	■日記から出来事や気持ちを読み取ろうとしている。 ○日記を読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
2	p.42-43, 45	日記の前半部分から、河本くんの身の回りの出来事と気持ちを読み取る。 ◇帯活動 ◆日記の前半部分を読み、Q&Aで内容の詳細を確かめる。 ◆日記の前半部分の出来事と河本くんの気持ちを整理する。	○日記の前半部分を読み、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
3	p.44-45	日記の後半部分から、河本くんの身の回りの出来事と気持ちを読み取る。 ◇帯活動 ◆日記の後半部分を読み、Q&Aで内容の詳細を確かめる。 ◆日記の後半部分の出来事と河本くんの気持ちを整理する。	○日記の後半部分と最後3行を読み、内容を理解することができる。 ●日記から出来事や気持ちを読み取っている。(観察・ワークシート)
4	p.45	出来事と河本くんの気持ちを整理して捉え、自身の中学校生活との類似点・共通点や河本くんの気持ちについて想像したことを話し合う。 ◇帯活動 ◆After You Read 河本くんの生活と自分の生活との類似点・相違点を考える。 ◆8月6日の8時15分を迎える前の河本くんの気持ちを想像して、自分が感じることなどをグループで話し合う。	■戦争中の中学生のことを知ろうとしている。 ●書かれていることと自分の考えを整理し、伝え合っている。 ■友達と積極的に伝え合おうとしている。(観察・ワークシート)

World Tour1	Living With Animals	教科書ページ	p.46-47
		配当時間	1時間
教材の目標	・絶滅危惧種の現状やその原因について知ることができる。	学習時期	7月
言語材料	語句 polar, shark, African, elephant, species, extinct, danger, disappear, loss, climate, climate change 連語 in danger		
言語の使用場面 /働き	働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	現在完了形や数の言い方などについて正確に理解している。	○				
	絶滅危惧種の現状やその原因についての説明を聞いて、絶滅危惧種の数などの情報を正確に聞き取ることができる。	○				
思考・判断・表現	自分の予想が当たっているかどうか確かめるために、絶滅危惧種の現状やその原因についての情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
主体的に学習に取り組む態度	絶滅の危機にある動物を守るためにどんなことができるか考えて、友達と話し合おうとしている。	■				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.46-47	説明を聞いて、絶滅危惧種の現状やその原因について知り、動物たちのためにできることを話し合う。 ◇帯活動 ◆1の(1)~(3)の文からどんな数の情報を聞き取る必要があるかを理解し、その数字を予想する。 ◆1の絶滅危惧種の現状についての説明を聞いて、(1)~(3)の文の空欄に合う数字を書く。 ◆2の動物たちが絶滅に瀕している原因とその生息数を、選択肢から予想する。 ◆2の説明を聞いて、動物、絶滅に瀕している原因、その生息数を線で結ぶ。 ◆絶滅の危機にある動物を守るために、どんなことができるかを友達と話し合う。	○説明を聞いて、絶滅危惧種の数などの情報を正確に聞き取ることができる。 ●自分の予想が当たっているかどうか確かめるために、絶滅危惧種の現状やその原因についての情報を聞き取っている。 ■動物たちのためにできることを友達と話し合おうとしている。(観察・ワークシート)

You Can Do It! 1	「過去」と「現在」の相違点を挙げよう	教科書ページ	p.48-49
		配当時間	2時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。</li> <li>過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、50年後の町の変化を予想して述べたりすることができる。</li> </ul>	学習時期	7月
言語材料	語句 crossing, traffic		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	町の歴史についての説明から、過去と現在の違いなどを聞き取ることができる。	○				
	過去の町の様子を現在の町と比べるなどして話すことができる。				○	
	未来のことや自分の考えなどを話すことができる。				○	
思考・判断・ 表現	町博士が話し忘れたことが何かを知るために、町の歴史についての説明から情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
	過去と現在の町の相違点を伝えるために、写真を比べて気づいたことを適切な表現を使って発表している。				●	
	50年後の町の変化について予想したことを伝えるために、自分の考えを整理して、適切な表現を使って発表している。				●	
主体的に学習に 取り組む態度	町博士が話し忘れたことが何かを知るために、町の歴史についての説明から情報を聞き取ろうとしている。	■				
	積極的に過去と現在の町の写真を比べて相違点を見つけようとしている。				■	
	50年後の町の変化について、自分の意見を積極的に友達に伝えようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.48-49	<p>町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解し、過去と現在の町の写真を比べて相違点を発表する。</p> <p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町博士のメモから説明の内容を予測する。</li> <li>町の歴史の説明を聞いて、町博士が何について話したかを捉える。</li> </ul> <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去と現在の町の写真を比べて相違点を見つける。</li> <li>グループになり、Active Wordsを参考にして自分が見つけた相違点を発表する。</li> <li>グループごとに挙げられた相違点を発表し、どのグループがいちばん多く挙げられたかを確かめる。</li> </ul>	<p>○町の歴史についての説明から、過去と現在の違いなどを聞き取ることができる。</p> <p>○過去の町の様子を現在の町と比べるなどして話すことができる。</p> <p>●渋谷の過去と現在の相違点を知るために、町の歴史についての説明から情報を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>■町の歴史についての説明から情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>●過去と現在の町の相違点を伝えるために、写真を比べて気づいたことを適切な表現を使って発表している。</p> <p>■積極的に過去と現在の写真を比べて相違点を見つけようとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
2	p.49	<p>50年後の町の変化を予想し、良くなることと悪くなることを整理して発表する。</p> <p>Thinking</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>50年後の町の変化を3つ予想して、その変化によって良くなることと悪くなることを考える。</li> </ul> <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループになって、50年後の町の変化についての意見を発表し合う。</li> <li>友達の見でいちばんおもしろいと思ったものを発表する。</li> <li>活動をふり返って自己評価をする。</li> </ul>	<p>□未来のことや自分の考えなどを話すことができる。</p> <p>●50年後の町の変化について予想したことを伝えるために、自分の考えを整理して適切な表現を使って発表している。</p> <p>●50年後の町の変化について、自分の意見を積極的に友達に伝えようとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 4	AI Technology and Language	題材	科学技術
		教科書ページ	p.51-59
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。</li> <li>読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。</li> </ul>	配当時間	9時間
		学習時期	9月
言語材料	<p>基本文 Part 1 <u>Smartphones</u> <b>which</b> respond to voice commands are common these days.</p> <p>Part 2 I have <u>an uncle</u> <b>who</b> runs a Japanese restaurant.</p> <p>Part 3 It's <u>an experience</u> <b>that</b> will broaden your world view.</p> <p>語句 AI, technology, daily, robot, drone, smartphone, progress, lives, search, engine, search engine, respond, command, common, automatically, translation, software, quite, soft, skin, deliver, package, particular, address, machine, translate, phrase, agree, interact, foreign, might, anymore, disagree, navigation, raise, rapidly, exchange, broaden, understanding, hint, Rome, Paris, handball, directly, hate, depend, suppose, proper, remember</p> <p>連語 respond to ~ come up with ~ agree with ~ hate to ~ depend on ~</p> <p>表現 I disagree with you. What do you think?</p>		
言語の使用場面／働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動</p> <p>働き (ウ) 説明する (エ) 意見を言う</p>		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	関係代名詞 which, who, that が主語となる構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	関係代名詞 which, who, that が主語となる文を使った説明や会話から、説明の内容などを正確に聞き取ることができる。	○				
	関係代名詞 which, who, that が主語となる文を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	関係代名詞 which, who, that が主語となる文を使って、品物や人物を説明したりクイズの問題を出したりすることができる。			○		
	関係代名詞 which, who, that が主語となる文を使って、品物や人物の説明やクイズの問題を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	投稿文のどれが登場人物の意見に近いかを知るために、投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取り、適切に理解している。		●			
	投稿文についての感想や意見を伝えるために、自分の意見を整理し、理由や例とともに文章の組み立てを考えて書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取ろうとしている。		■			
	自分の意見を整理して、理由や例とともに文章を組み立てて書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.51	<p>ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆写真を見たり、自分の生活の中で使っている AI 機器について考えたりして、ストーリーの話題を予測する。</p> <p>◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p>	
2	p.52	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使用方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.52の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆関係代名詞 which が主語となる文を理解する。</p> <p>◆p.52の本文を音読する。</p>	<p>○p.52の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.53	<p>関係代名詞 <b>which</b> が主語となる文を使った説明を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen ロボットについての説明を聞いて、説明に合うロボットの特徴を述べた文を選ぶ。</p> <p>◆Speak 関係代名詞 <b>which</b> を使って、自分が欲しいロボットを伝え合う。</p> <p>◆Write 自分と友達が欲しいロボットを書く。</p>	<p>○関係代名詞 <b>which</b> を使った説明から、ロボットの特徴を聞き取ることができる。</p> <p>○関係代名詞 <b>which</b> を使って、自分が欲しいロボットを伝え合うことができる。</p> <p>○関係代名詞 <b>which</b> を使って、自分と友達が欲しいロボットを書くことができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
4	p.54	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使用方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.54の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆関係代名詞 <b>who</b> が主語となる文を理解する。</p> <p>◆p.54の本文を音読する。</p>	<p>○p.54の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
5	p.55	<p>関係代名詞 <b>who</b> が主語となる文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen AI機器を利用している人についての会話から、その人が何を利用しているかを聞き取る。</p> <p>◆Speak 関係代名詞 <b>who</b> を使って、AI機器を使っている身近な人について伝え合う。</p> <p>◆Write AI機器を使っている人について書く。</p>	<p>○関係代名詞 <b>who</b> を使った会話から、その人がどんなAI機器を使っているかを聞き取ることができる。</p> <p>○関係代名詞 <b>who</b> を使って、AI機器を使っている人について伝え合うことができる。</p> <p>○関係代名詞 <b>who</b> を使って、AI機器を使っている人について書くことができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
6	p.56	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使用方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.56の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆関係代名詞 <b>that</b> が主語となる文を理解する。</p> <p>◆p.56の本文を音読する。</p>	<p>○p.56の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
7	p.57	<p>関係代名詞 <b>that</b> が主語となる文を使ったクイズを聞いたり、それを使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen スポーツや歴史に関するクイズを聞いて、問題に答える。</p> <p>◆Speak 関係代名詞 <b>that</b> を使ってクイズを作り、出題し合う。</p> <p>◆Write クイズの問題でおもしろいと思ったものを書く。</p>	<p>○関係代名詞 <b>that</b> を使ったクイズを聞いて、問題に答えることができる。</p> <p>○関係代名詞 <b>that</b> を使ってクイズを作り、出題することができる。</p> <p>○関係代名詞 <b>that</b> を使って、クイズの問題を書くことができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
8	p.58-59	<p><b>Goal</b> 投稿文を読んで、自分の意見を書こう</p> <p>自動翻訳機についての4つの投稿文を読み、登場人物の意見に近いものを選ぶ。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Read 4つの投稿文を読んで、それぞれの要点を捉える。</p> <p>◆本文を読み直し、4つの投稿文の意見がどの登場人物の意見に近いかを考える。</p> <p>◆投稿文に再度目を通し、自分が書く文章のイメージを持つ。</p>	<p>●投稿文のどれが登場人物の意見に近いかを知るために、投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取り、適切に理解している。</p> <p>■投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取ろうとしている。</p> <p>(ワークシート)</p>
9	p.58-59	<p>投稿文に対する感想や意見を書き、お互いに読み合う。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Write 自分の意見を整理し、文章の組み立てを考える。</p> <p>◆メモをもとに文章を書く。</p> <p>◆グループでお互いの文章を読み合い、意見を交換する。</p> <p>◆活動をふり返り、自己評価をする。</p>	<p>●投稿文についての感想や意見を伝えるために、自分の意見を整理し、理由や例とともに文章の組み立てを考えて書いている。</p> <p>■意見を整理して、理由や例とともに文章を組み立てて書こうとしている。</p> <p>(ワークシート)</p>

Let's Read 2	Robots Make Dreams Come True	題材	ロボット
		教科書ページ	p.60-63
教材の目標	・説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。	配当時間	4時間
		学習時期	9-10月
言語材料	語句 imagine, character, human, factory, modern, variety, shape, improve, above, suit, rescue, dangerous, nuclear, power, power station, NASA, develop, explore, international, sent, reach, Mars, severe, physical, disability, autumn, user, disease, body, control, movement, live, microphone, service, advice, connect, society 連語 come true a variety of ~ more and more again and again make friends with ~ connect ~ with ...		
言語の使用場面 /働き	働き (ウ) 説明する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	関係代名詞や受け身の文, let/help+人+動詞の原形, It is ~ (for 人)+to+動詞の原形などの構文について正確に理解している。		○			
	説明文を読んで内容を理解することができる。		○			
思考・判断・表現	現代社会におけるロボットの働きについて知るために、段落ごとの要点を捉え、説明文の要旨を読み取っている。		●			
	ロボットを必要とする人たちやその人たちに役立つロボットについて、伝えたいことと具体的な説明を入れて、自分の考えを伝えている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	現代社会におけるロボットの働きについて知るために、段落ごとの要点を捉え、説明文の要旨を読み取ろうとしている。		■			
	ロボットを必要とする人たちやその人たちに役立つロボットについて、伝えたいことと具体的な説明を入れて、積極的に自分の考えを伝えようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.60-61	ロボットについて興味をもち、現代社会のさまざまな場面でロボットが役割を担っていることを理解する。 ◇帯活動 ◆Before You Read ロボットについて知っていることを話し合い、題材への興味を高め、本文の内容を推測する。 ◆p.60-61の文章を通して読み、おおよその内容をつかむ。 ◆p.60の文章を読み、内容の詳細を確かめる。	○p.60の文章を読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
2	p.60-61	どんなどころでどんなロボットが活躍しているかを理解する。 ◇帯活動 ◆p.60-61の各ロボットの説明文を読み、内容の詳細を確かめる。	○p.60-61の各ロボットの説明文を読んで内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
3	p.62-63	OriHimeの説明文を読んでおおよその内容をつかんだ後、OriHimeが誰にとって、どのように役立っているかを理解する。 ○帯活動 ◆p.62-63の文章を通して読み、おおよその内容をつかむ。 ◆p.62-63の文章を通して読み、内容の詳細を確かめる。	■OriHimeの働きについて知るために、段落ごとの要点を捉え、説明文の要旨を読み取ろうとしている。 ○p.62-63の説明文を読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
4	p.62-63	OriHimeの説明の要約文を完成させ、ロボットを必要とする人たちが、その人たちの役に立つロボットについて話し合う。 ◇帯活動 ◆After You Read p.63の要約文を完成させながら、OriHimeについての説明文の要旨を確かめる。 ◆ロボットを必要とする人たちが、その人たちに役立つロボットについて、自分の考えを伝え合う。	●説明文の要旨を読み取っている。 ○OriHimeの説明の要約文を音読することができる。 ■積極的に自分の考えを伝えようとしている。 ●伝えたいことと具体的な説明を入れて、自分の考えを伝えている。(観察・ワークシート)

Daily Life 3	ポスター	教科書ページ	p.64
		配当時間	1時間
教材の目標	・ポスターから、必要な情報を読み取ることができる。	学習時期	10月
言語材料	<b>【復習】</b> 関係代名詞 that 語句 solution, pollution, ocean, trash, affect, health, wildlife, save, shine, north, community, trash bag, provide, detailed 連語 be part of ~ make a difference feel free to ~		

評価規準		L	R	SI	SP	W
知識・技能	関係代名詞 that が主語となる文を正確に理解している。		○			
	ポスターを読んで、呼びかけていることを理解し、必要な情報を読み取ることができる。		○			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.64	ポスターを読んで、呼びかけていることを理解し、必要な情報を読み取る。 ◇帯活動 ◆ポスターのタイトルと呼びかけの文から、何を呼びかけているポスターかを推測する。 ◆ポスターを読んで、当日、どの時間帯にどこへ行けばよいかを伝えている部分に下線を引く。 ◆ポスターを読んで、自分で用意する必要があるものについて伝えている部分に波線を引く。 ◆ペアになり、2. の (1) (2) 以外にポスターから得られる情報を共有する。 ◆ポスターを作成する際に必要なことは何かを考え、クラスで共有する。 ◆学校行事に関するポスターを作成する。	○ポスターを読んで、呼びかけていることを理解し、必要な情報を読み取ることができる。 (観察・ワークシート)

Unit 5	Plastic Waste	題材	環境問題
		教科書ページ	p.65-73
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。</li> <li>・読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。</li> </ul>	配当時間	9時間
		学習時期	10-11月
言語材料	<p>基本文 Part 1 This is a <u>graph</u> (<b>which</b>) I found on a website.          Part 2 <u>The movement</u> (<b>that</b>) they started spread through social media.          Part 3 This is <u>an article</u> I found.</p> <p>語句 plastic, waste, presentation, dirty, terrible, shocking, familiar, plastic bag, single, throw, graph, amount, packaging, per, rank, durable, harm, environment, EU, Korean, cushion, Bali, thrown, resident, pollute, ban, social, media, social media, governor, recycle, properly, planet, bye, handkerchief, pair, umbrella, lend, lent, mystery, mystery novel, article, reduce, major, chain, replace, straw, paper, effort, canvas, container, material, cotton, environmental, eco-friendly, bottle, reuse, print, light, campaign, princess, Hawaii, gather, pick, signature, result, success, even, percent, discuss, solve, instead, focus</p> <p>連語 throw away ~ break down you see take action give up on ~ a pair of ~ the day before yesterday a kind of ~ replace ~ with ... make an effort be made from ~ ~ as well as ... turn off ~ pick up ~ as a result focus on ~</p> <p>表現 What happens to ~?</p>		
言語の使用場面／働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動          働き (ウ) 発表する (エ) 意見を言う</p>		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	関係代名詞 which, that が目的語となる文や後置修飾について理解している。	○	○	○	○	○
	関係代名詞 which, that が目的語になる文や後置修飾を使った話や会話から、説明している品物や活動を正確に聞き取ることができる。	○				
	関係代名詞 which, that が目的語になる文や後置修飾を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	関係代名詞 which, that が目的語になる文や後置修飾を使って、品物や活動について伝え合うことができる。			○		
	関係代名詞 which, that が目的語になる文や後置修飾の構文を使って、品物や活動について書くことができる。					○
思考・判断・表現	正しい順序でつなげるために、プレゼンテーションの記事を読んで、話の流れを読み取っている。		●			
	お互いの考えを知り合うために、プレゼンテーションの記事を読んで感じたことや考えたことを適切な表現を使って伝え合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	プレゼンテーションの記事を読んで、話の流れを考えようとしている。		■			
	自分の感想や考えを積極的に友達に伝えようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.65	<p>ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆写真を見て、ストーリーの話題を予測する。</p> <p>◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p>	
2	p.66	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.66の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆関係代名詞 which が目的語になる文を理解する。</p> <p>◆p.66の本文を音読する。</p>	<p>○p.66の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.67	関係代名詞 <b>which</b> が目的語になる文を使った話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 韓国の文化の紹介を聞いて、内容に合う写真を選ぶ。 ◆Speak 関係代名詞 <b>which</b> を使って、外国の人に日本の文化を紹介するつもりで写真を説明する。 ◆Write 日本の文化を紹介する文を書く。	○関係代名詞 <b>which</b> を使った韓国文化の紹介から、内容を聞き取ることができる。 ○関係代名詞 <b>which</b> を使って、日本の文化を紹介することができる。 ○日本の文化を紹介する文を書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.68	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.68の本文を読んで、内容を理解する。 ◆関係代名詞 <b>that</b> が目的語になる文を理解する。 ◆p.68の本文を音読する。	○p.68の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.69	関係代名詞 <b>that</b> が目的語になる文を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 登場人物の会話を聞いて、その人が説明した持ち物を聞き取る。 ◆Speak ペアになり、関係代名詞 <b>that</b> が目的語になる文を使って自分の持ち物を説明し、会話を続ける。 ◆Write 自分の持ち物を説明する文を書く。	○関係代名詞 <b>that</b> を使った会話から、その人が説明したものを聞き取ることができる。 ○関係代名詞 <b>that</b> を使って、自分の持ち物を説明し、会話を続けることができる。 ○自分の持ち物を説明する文を書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.70	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.70の本文を読んで、内容を理解する。 ◆文による後置修飾の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.70の本文を音読する。	○p.70の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.71	文による後置修飾を使った話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 自分が取り組んでいる環境を守る活動についてのプレゼンテーションを聞いて、活動の内容を聞き取る。 ◆Speak ペアになり、文による後置修飾を使って、自分がしている環境に優しい活動について伝え合う。 ◆Write 自分や友達がしている活動について書く。	○後置修飾を使ったプレゼンテーションから、その人がしている活動の内容を聞き取ることができる。 ○後置修飾を使って、自分がしている活動について伝え合うことができる。 ○自分や友達がしている活動について書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.72-73	<b>Goal</b> プレゼンテーションを読んで、感想を伝え合おう 段落ごとのプレゼンテーションの記事を読み、話の流れを読み取り、正しい順序でつなげる。 ◇帯活動 ◆Read プレゼンテーションの記事を読み、それぞれの段落の内容を理解する。 ◆3つの段落の順序を考えて、空欄に数字を書く。 ◆音声聞いて、正しい順番と内容を確認する。	●正しい順序でつなげるために、プレゼンテーションの記事から話の流れを読み取っている。 ■プレゼンテーションの記事から、話の流れを考えようとしている。(ワークシート)
9	p.73	ペアで、プレゼンテーションの記事を読んで感じたことや考えたことを伝え合う。 ◇帯活動 ◆Speak 記事を読んで、印象に残った部分に線を引く。 ◆ペアになり、それぞれ線を引いた部分を読み上げ、その部分を選んだ理由を伝え合う。 ◆ペアで伝え合ったことを発表する。 ◆活動を振り返って自己評価をする。	●お互いの考えを知り合うために、記事を読んで感じたことや考えたことを適切な表現を使って伝え合っている。 ■自分の感想や考えを積極的に友達に伝えようとしている。(ワークシート)

Daily Life 4	ニュース	教科書ページ	p.74
		配当時間	1時間
教材の目標	・ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。	学習時期	11月
言語材料	語句 Tuvalu, sea-level, lung, rain forest, product, audience, breathe, digest		
言語の使用場面 /働き	働き (ウ) 報告する (エ) 意見を言う		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	関係代名詞 that, which や現在完了形, 現在完了進行形, It is ~+to+動詞の原形の構文などについて正確に理解している。	○			○	
	ニュースを聞いて, どんな会議が, いつ, どこで開かれたかを聞き取ったり, 参加者の話の内容を理解したりすることができる。	○				
	参加者が述べた意見を説明することができる。				○	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.74	<p>会議についてのニュースを聞いて要点を捉え, 会議の参加者の意見を説明する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆ニュースを聞いて, どんな会議が, いつ, どこで開かれたかを聞き取る。</p> <p>◆ニュースを聞いて, 参加者の出身国とそれぞれの話の内容を聞き取る。</p> <p>◆もう1度ニュースを聞いてメモを取り, 3人の参加者の意見を説明する。</p> <p>◆3人の参加者の意見について, 感想や意見を話し合う。</p>	<p>○ニュースから, どんな会議が, いつ, どこで開かれたかを聞き取ったり, 参加者の話の内容を理解したりすることができる。</p> <p>○参加者が述べた意見を説明することができる。 (観察・ワークシート)</p>

Unit 6	The Chorus Contest	題材	合唱コンクール
		教科書ページ	p.75-83
単元目標	・絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 ・絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。	配当時間	9時間
		学習時期	11-12月
言語材料	基本文 Part 1 There are <u>two people playing one piano</u> . Part 2 They're wearing <u>T-shirts designed by Tina</u> . Part 3 Tell us <u>why you're leaving</u> . Do you know <u>when you're leaving</u> ? 語句 chorus, contest, matter, trouble, twist, wrist, while, few, until, Dr., woman, women, piece, beside, invite, heal, T-shirt, design, conductor, solo, tale, poem, unbelievable, strange, news, beginning, New Zealand, describe, artwork, monkey, ouch, bite, ear, frog 連語 be in trouble a few ~ a piece of ~ move to ~ at the beginning of ~ 表現 What's the matter? I have an idea. Unbelievable!		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 褒める (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 質問する		

		評価規準					L	R	SI	SP	W
知識・技能	動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文について正確に理解している。		○	○	○					○	
	動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文を使った会話から、人や文化財やALTについての情報などを聞き取ることができる。		○								
	動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。			○							
	動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文を使って、人や文化財についてたずね合ったり、ALTについての情報を伝え合ったりすることができる。				○						
	動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文を使って、人や文化財を説明したりALTについて知りたいことを書いたりすることができる。									○	
思考・判断・表現	どの絵のことを説明しているかを知るために、絵の説明を聞いて適切に内容を理解している。		●								
	自分がどの動物になっているかを当ててもらうために、絵の場面にふさわしいせりふを考えて、適切な表現を使ってクイズを出し合っている。				●						
主体的に学習に取り組む態度	積極的に絵の説明を聞いて、どの絵のことを説明しているか考えようとしている。		■								
	絵の場面にふさわしいせりふを積極的に考えようとしている。				■						

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.75	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆写真を見たり、印象に残っている学校行事のことを思い出したりして、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.76	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.76の本文を読んで、内容を理解する。 ◆動詞の-ing 形による後置修飾を理解する。 ◆p.76の本文を音読する。	○p.76の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.77	動詞のing形による後置修飾を使った会話を聞いたり、動詞のing形による後置修飾を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 登場人物の会話を聞いて、絵の中のどの人物が話題になっているかを聞き取る。 ◆Speak ペアになり、動詞のing形による後置修飾を使って、絵の中の人物の名前をたずね合う。 ◆Write 絵の中の人物を説明する文を3つ書く。	○動詞のing形による後置修飾を使った会話から、絵の中のどの人物が話題になっているかを聞き取ることができる。 ○後置修飾を使って、絵の中の人物の名前をたずね合うことができる。 ○絵の中の人物を説明する文を3つ書くことができる。(観察・ワークシート)
4	p.78	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.78の本文を読んで、内容を理解する。 ◆過去分詞による後置修飾の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.78の本文を音読する。	○p.78の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。(観察・ワークシート)
5	p.79	過去分詞による後置修飾を使った会話を聞いたり、過去分詞による後置修飾を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 会話を聞いて、いくつかの文化財の話に出てきた順序を聞き取る。 ◆Speak ペアになり、過去分詞による後置修飾を使って、日本の文化財について紹介し合う。 ◆Write 日本の文化財を紹介する文を3つ書く。	○過去分詞による後置修飾を使った会話から、いくつかの文化財の話に出てきた順序を聞き取ることができる。 ○後置修飾を使って、日本の文化財を紹介し合うことができる。 ○日本の文化財を紹介する文を3つ書くことができる。(観察・ワークシート)
6	p.80	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.80の本文を読んで、内容を理解する。 ◆間接疑問文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.80の本文を音読する。	○p.80の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。(観察・ワークシート)
7	p.81	間接疑問文を使った会話を聞いたり、間接疑問文を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 会話を聞いて、登場人物がALTについて知っていたことと知らなかったことを聞き取る。 ◆Speak 間接疑問文を使って、自分の学校のALTについて知っている情報を伝え合う。 ◆Write ALTについて知りたいことを書く。	○間接疑問文を使った会話から、登場人物が知っていたことと知らなかったことを聞き取ることができる。 ○間接疑問文を使って、ALTについて知っている情報を伝え合うことができる。 ○ALTについて知りたいことを書くことができる。(観察・ワークシート)
8	p.82	Goal 絵にふさわしいせりふを考えて発表しよう 「鳥獣人物戯画」の説明を聞いて、どの絵のことを説明しているかを考える。 ◇帯活動 ◆「鳥獣人物戯画」について知っていることを出し合う。 ◆Listen 1～3の説明を聞いて、どの絵の説明かを考える。 ◆絵のそれぞれの場面で、誰が何をしているかを言う。	●どの絵を説明しているかを知るために、絵の説明を聞いて内容を理解している。 ■説明を聞いて、積極的にどの絵を説明しているか考えようとしている。(ワークシート)
9	p.83	絵の中から動物を選んでふさわしいせりふを考え、どの動物のせりふかを当てるクイズを出し合う。 ◇帯活動 ◆絵の中から動物を選んで、ふさわしいせりふを考える。 ◆Speak グループで、順番に考えたせりふやヒントを発表して、自分がどの動物になっているかを友達に当ててもらおう。 ◆クラス全体で感想を交流する。 ◆活動を振り返って自己評価する。	●絵の場面にふさわしいせりふを考えて、クイズを出し合っている。 ■絵の場面にふさわしいせりふを積極的に考えようとしている。(ワークシート)

Active Grammar 2	後置修飾	教科書ページ	p.84-85
		配当時間	2時間
教材の目標	・名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解することができる。	学習時期	12月
言語材料	【復習】 語句を置いて説明を追加する（前置詞・不定詞・動詞の-ing形・過去分詞） 文を置いて説明を追加する（接触節・関係代名詞）		

	<b>評価規準</b>
知識	後置修飾の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。 Unit 4, 5, 6 のストーリーを読んで、名詞に後ろから説明を追加している表現がある文に○印を付け、どんな意味を表しているかを確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.84-85	<p>名詞の後ろに説明を追加するさまざまな言い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆前置詞や不定詞、現在／過去分詞を使った後置修飾の使用場面と意味を理解する。</li> <li>◆前置詞や不定詞、現在／過去分詞を使った後置修飾の形を理解する。</li> <li>◆前置詞や不定詞、現在／過去分詞を使った後置修飾の練習をする。</li> </ul>	
2	p.85	<p>関係代名詞の使い方を理解し、後置修飾の使い方に慣れる。</p> <p>◇帯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆接触節や関係代名詞による後置修飾の使用場面と意味を理解する。</li> <li>◆接触節や関係代名詞による後置修飾の形を理解する。</li> <li>◆接触節や関係代名詞による後置修飾の使い方を練習する。</li> <li>◆英語と日本語を比べて、名詞に説明を加えるときの違いを考える。</li> <li>◆Grammar Hunt の活動を行う。</li> <li>◆後置修飾を使って身近な人のことを伝える文を書く。</li> </ul>	<p>○Unit 4, 5, 6 のストーリーを読んで、後置修飾がある文に○印を付け、どんな意味を表しているかを確かめることができる。</p> <p>○後置修飾を使って自分のことを伝える文を書くことができる。</p> <p style="text-align: right;">(観察・ワークシート)</p>

You Can Do It! 2	学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	教科書ページ	p.86-87
		配当時間	2時間
教材の目標	・2人の生徒の提案を読み、賛成か反対かを定めることができる。 ・どちらかの提案について、自分の意見と理由を伝え合うことができる。	学習時期	12月
言語材料	語句 attractive, Taiwan, relaxed, against 連語 take a nap		
言語の使用場面/ 働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ウ) 説明する (エ) 賛成する・反対する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	書き手の意見とその理由を正確に読み取ることができる。		○			
	提案に対する賛否や自分の意見とその理由などを話すことができる。				○	
思考・判断・ 表現	提案に対する賛否を決めるために、2人の生徒の提案とその理由を読み取り、適切に理解している。		●			
	提案に対する自分の意見を伝えるために、賛否の立場をはっきりさせて、その理由を適切な表現を使って伝えている。				●	
主体的に学習に 取り組む態度	積極的に2人の生徒の提案とその理由を読み取り、賛否を判断しようとしている。		■			
	友達に納得してもらえるように、自分の意見とその理由を伝えようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.86-87	2人の生徒の提案を読んで賛否の立場を決め、その理由を整理する。 Reading ◆2人の生徒の提案を読んで、提案の内容とその理由を述べている部分に線を引く。 ◆それぞれの提案に対する賛否を決め、その理由になりそうな部分に線を引く。 ◆2人の提案の内容とその理由を全体で確認する。 Thinking ◆グループになり、2つの提案のどちらかを議題に選ぶ。 ◆議題になった提案に対する賛否の意見とその理由を整理して書き出す。	○書き手の意見とその理由を正確に読み取ることができる。 ●提案に対する賛否を決めるために、2人の生徒の提案とその理由を読み取り、適切に理解している。 ■積極的に2人の提案を読み、賛否を判断しようとしている。(観察・ワークシート)
2	p.87	グループで賛成派と反対派に分かれて意見を述べ、最終的にそれぞれの人数を確認する。 Speaking ◆グループで、議題となった提案に対する賛成派と反対派の人数を確認する。 ◆順番に自分の意見とその理由を発表する。 ◆発表後にあらためて賛成派と反対派の人数を教え、意見が変わった人がいたかどうかを確認する。 ◆グループの発表の様子を全体に報告する。 ◆活動をふり返って自己評価をする。	○提案に対する賛否や自分の意見とその理由などを話すことができる。 ●提案に対する自分の意見を伝えるために、賛否の立場をはっきりさせて、その理由を適切に伝えている。 ■友達に納得してもらえるように、意見とその理由を伝えようとしている。(観察・ワークシート)

Unit 7	Tina's Speech	題材	思い出のスピーチ
		教科書ページ	p.89-95
単元目標	・スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 ・今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。	配当時間	7時間
		学習時期	1月
言語材料	基本文 Part 1 I didn't know <b>what to expect</b> when I got there. I thought I should learn <b>how to use chopsticks</b> . Part 2 <b>If I could</b> speak to that worried girl, I <b>would</b> say, "There's no need to worry." 語句 speech, suddenly, expect, chopstick, full, anxiety, graduate, possible, shock, fold, crane, truth, basically, everywhere, respect, adventure, prime minister, test, memory, fill 連語 make a speech not really be full of ~ feel down build a fire be different from ~ The truth is (that) ~. find ~ out fill ~ with ... 表現 Fast forward three years, ~. There's no need to worry.		
言語の使用場面 / 働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ウ) 発表する (エ) 仮定する		

		評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	疑問詞+to+動詞の原形や If...の仮定法の構文について正確に理解している。		○	○	○	○	○
	疑問詞+to+動詞の原形や If...の仮定法を使った会話から、やり方を知っていることや「もし～だったら」どうするかということを正確に聞き取ることができる。		○				
	疑問詞+to+動詞の原形や If...の仮定法を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。			○			
	疑問詞+to+動詞の原形や If...の仮定法形を使って、やり方を知っているかどうかや「もし～だったら」どうするかということをたずね合うことができる。				○		
	疑問詞+to+動詞の原形や If...の仮定法を使って、やり方を知りたいことや「もし～だったら」どうするかを書くことができる。						○
思考・判断・表現	話し手がいちばん伝えたいことを知るために、スピーチを聞いて内容を適切に理解している。		●				
	「今の自分」を伝えるために、テーマと話す内容を整理して、適切な表現を使ってスピーチしている。					●	
主体的に学習に取り組む態度	スピーチを聞いて、話し手がいちばん伝えたいことを捉えようとしている。		■				
	スピーチの内容が友達に伝わるように、声の大きさや発音、イントネーション、アイコンタクトなどに配慮している。					■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.89	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆絵を見たり、自分がスピーチするとしたら何を話すかを考えたりして、ストーリーの話題を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.90	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.90の本文を読んで、内容を理解する。 ◆疑問詞+to+動詞の原形の意味と使い方を理解する。 ◆p.90の本文を音読する。	○p.90の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.91	<p>疑問詞+to+動詞の原形を使った会話を聞いたり、疑問詞+動詞の原形を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて、その人がやり方を知っていることと知らないことを聞き取る。</p> <p>◆Speak ベアになり、疑問詞+to+動詞の原形を使って、あることのやり方を知っているかどうかをたずね合う。</p> <p>◆Write 疑問詞+to+動詞の原形を使って、自分がやり方を知りたいものを書く。</p>	<p>○疑問詞+to+動詞の原形を使った会話から、その人がやり方を知っていることと知らないことを聞き取ることができる。</p> <p>○疑問詞+to+動詞の原形を使って、あることのやり方を知っているかどうかをたずね合うことができる。</p> <p>○疑問詞+to+動詞の原形を使って、自分がやり方を知りたいものを書くことできる。 (観察・ワークシート)</p>
4	p.92	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.92の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆If...の仮定法の構文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.92の本文を音読する。</p>	<p>○p.92の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
5	p.93	<p>If...の仮定法を使った会話を聞いたり、If...の仮定法を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話から、その人が「もし~だったら」どうするかを聞き取る。</p> <p>◆Speak ベアになり、If...の仮定法を使って、「もし~だったら」どうするかをたずね合う。</p> <p>◆Write If...の仮定法を使って、「もし~だったら」どうするかを書く。</p>	<p>○If...の仮定法を使った会話から、その人が「もし~だったら」どうするかを聞き取ることができる。</p> <p>○If...の仮定法を使って、「もし~だったら」どうするかをたずね合うことができる。</p> <p>○If...の仮定法を使って、「もし~だったら」どうするか書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
6	p.94	<p>Goal 今の自分を伝えるスピーチをしよう</p> <p>登場人物のスピーチを聞いて、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取る。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 3人の登場人物のスピーチを聞いて、それぞれが話題にしたことを聞き取る。</p> <p>◆もう1度それぞれのスピーチを聞いて、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取る。</p> <p>◆スピーチのクリプトを読んで、それぞれのスピーチの構成や表現を工夫している点を理解する。</p> <p>◆Write 3人のスピーチのSummary Writingをする。</p>	<p>●話し手がいちばん伝えたいことを知るために、スピーチを聞いて内容を適切に理解している。</p> <p>■スピーチを聞いて、話し手がいちばん伝えたいことを捉えようとしている。 (ワークシート)</p>
7	p.95	<p>グループになり、今の自分の様子を伝えるスピーチをする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Speak スピーチのテーマを決め、話す内容をチャートに書きだして整理する。</p> <p>◆スピーチの構成や表現を考えてメモを作る。</p> <p>◆グループになり、順番に「今の自分」を伝えるスピーチをする。</p> <p>◆スピーチを聞いた感想を伝え合い、自分のスピーチへの自己評価を付け、コメントを書く。</p> <p>◆活動をふり返り、自己評価をする。</p>	<p>●「今の自分」を伝えるために、テーマと話す内容を整理して、適切な表現を使ってスピーチしている。</p> <p>■声の大きさや発音、イントネーション、アイコンタクトなどに配慮している。 (ワークシート)</p>

World Tour 2	How Do We Live?	教科書ページ	p.96-97
		配当時間	1時間
教材の目標	・世界を100人の村にたとえた文章から、世界の現状を知ることができる。	学習時期	1月
言語材料	語句 billion, gender, geography, Asia, America, Europe, education, college, dying, starvation, undernourished, overweight, shelter, access 連語 have access to ~ in order to ~		
言語の使用場面／働き	働き (ウ) 説明する (エ) 仮定する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	If...の仮定法や間接疑問文の構文などを正確に理解している。		○			
	世界を100人の村にたとえた文章から、さまざまな情報を読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	友達と話し合うために、文章を読んで気になった部分や驚いた部分に線を引き、自分の感想や考えをもっている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	世界の現状や未来について友達と積極的に話し合おうとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.96-97	世界を100人の村にたとえた文章を読んで、世界の現状を知り、感想や意見を友達と話し合う。 ◇帯活動 ◆世界の現状を表した図を見て、それぞれのテーマごとに空欄に入る数字を予想する。 ◆世界を100人の村にたとえた文章を読み、それぞれのテーマごとに空欄に合う数字を読み取る。 ◆もう1度文章を読んで、気になった部分や驚いた部分に線を引く。 ◆ペアになり、お互いが線を引いた部分について話し合う。 ◆グループになり、世界の現状について思うことと、これからどのようにしたいかということについて話し合う。	○世界を100人の村にたとえた文章から、さまざまな情報を読み取ることができる。 ●文章を読んで気になった部分や驚いた部分に線を引き、自分の感想や考えをもっている。 ■世界の現状や未来について、友達と積極的に話し合おうとしている。 (観察・ワークシート)

Let's Read 3	Changing the World	題材	スピーチ
		教科書ページ	p.98-101
教材の目標	・スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。	配当時間	4時間
		学習時期	2月
言語材料	語句 chemical, desert, vanish, forever, neither, salmon, dead, stream, delegate, government, organizer, reporter, politician, somebody, toward, goal, northern, needy, wealth, spent, affection, willing, greedy, behave, fight, mess, creature, comfort 連語 be afraid to ~ as if ~ bring ~ back be willing to ~ teach ~ not to ... work ~ out do the best		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 発表する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	関係代名詞、動詞の-ing形による後置修飾、間接疑問文、疑問詞+to+動詞の原形、If...の仮定法の構文などを正確に理解している。		○			
	スピーチ原稿を読んで、内容を理解することができる。		○			
思考・判断・表現	話し手の主張を知るために、繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んで、要点を捉えている。		●			
	スピーチで共感できる部分と共感できない部分について、話し手の考えと自分の考えを整理しながら、自分の考えを伝えたり相手に質問したりしている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	話し手の主張を知るために、繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んで、要点を捉えようとしている。		■			
	共感できる部分と共感できない部分について、話し手の考えと自分の考えを整理しながら、積極的に自分の考えを伝えたり相手に質問したりしようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.98-101	スピーチ原稿を通して読んでおおよその内容をつかんだ後、地球環境の危機についてセヴァンさんが訴えていることを理解する。 ◇帯活動 ◆Before You Read いくつかのキーワードから、スピーチの話題や内容を推測する。 ◆スピーチを通して聞き、イメージをつかむ。 ◆スピーチ原稿を通して読み、おおよその内容をつかむ。 ◆p.98からp.99の1.4までを読み、内容の詳細を確かめる。	■話し手がいちばん伝えたいことは何かを考えながら、スピーチ原稿を読もうとしている。 ○p.98からp.99の1.4までを読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
2	p.99-100	人類は1つの家族であり、分かち合うことが大切だというセヴァンさんの主張を理解する。 ◇帯活動 ◆p.99の1.5からp.100の1.8までを読み、内容の詳細を確かめる。	○p.99の1.5からp.100の1.8までを読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
3	p.100-101	大人の言行不一致を非難し、行動を起こすよう訴えているセヴァンさんの主張を理解する。 ◇帯活動 ◆p.100の1.9から最後までを読み、内容の詳細を確かめる。	○p.100の1.9から最後までを読み、内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
4	p.101	セヴァンさんがいちばん伝えなかったことを考え、スピーチに対する自分の考えを伝え合う。 ◇帯活動 ◆After You Read スピーチを読み直し、セヴァンさんがいちばん伝えなかったことは何かを考え、吹き出しの英文を完成させる。 ◆グループになり、スピーチに共感できる部分と共感できない部分について話し合う。 ◆自分が"Changing the World"という題名でスピーチするとしたら、どんなことを話すかを考える。	●スピーチ原稿を読んで、要点を捉えている。 ■自分の考えを伝えたり相手に質問したりしようとしている。 ●話し手の考えと自分の考えを整理しながら、自分の考えを伝えたり相手に質問したりしている。 (観察・ワークシート)

Unit 8	Goodbye, Tina	題材	別れと旅立ち
		教科書ページ	p.103-109
単元目標	・手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・自分の気持ちを伝える、手紙を書くことができる。	配当時間	6時間
		学習時期	2-3月
言語材料	基本文 Part 1 <b>I wish you weren't</b> leaving. <b>I wish I could</b> stay. 語句 goodbye, ambitious, usual, within bored, round, accept, midnight, helpful, friendship 連語 get bored keep in touch all year round be there for ~ 表現 Here's something for you. Have a safe trip! That's because of you!		
言語の使用場面／働き	使用場面 (イ) 手紙のやり取り 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 礼を言う (エ) 約束する (オ) 命令する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	I wish...の仮定法の構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	I wish...の仮定法の構文を使った会話から、登場人物が選んだ写真とその人が言った言葉を正確に聞き取ることができる。	○				
	I wish...の仮定法の構文を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	I wish...の仮定法の構文を使って、自分が「～だったらいいのに」と思うこととその理由を伝え合うことができる。			○		
	I wish...の仮定法の構文を使って、自分の願いとその理由を書くことができる。					○
思考・判断・表現	書き手がいちばん伝えたいことを知るために、大切な人に宛てた手紙の内容を読み取り、適切に理解している。		●			
	大切な人に宛てて自分の気持ちを伝えるために、適切な表現を使って手紙を書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	手紙を読んで、書き手の気持ちを考えようとしている。		■			
	自分の気持ちを伝えるのにふさわしい表現を探そうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.103	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆寄せ書きの絵や言葉を見たり、自分が友達に言いたいことを考えたりして、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.104	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.104の本文を読んで、内容を理解する。 ◆I wish...の仮定法の構文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.104の本文を音読する。	○p.104の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
3	p.105	<b>I wish...の仮定法を使った会話を聞いたり、I wish...の仮定法を使って話したり書いたりする。</b> ◇帯活動 ◆Listen 登場人物の会話を聞いて、Tinaに贈るアルバムのためにその人が選んだ写真やその人が言った言葉を選ぶ。 ◆Speak ペアになって、自分が「～だったらいいのに」と思うことその理由を伝え合う。 ◆Write 自分の願いとその理由を書く。	○I wish...の仮定法を使った会話から、登場人物が選んだ写真とその人の言葉を聞き取ることができる。 ○I wish...の仮定法を使って、自分の願いとその理由を出し合うことができる。 ○I wish...の仮定法を使って、自分の願いとその理由を書くことができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
4	p.106-107	本文の内容を捉えて音読する。 ◇帯活動 ◆p.106の本文を読んで、内容を理解する。 ◆p.106の本文を音読する。	○p.106の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.108-109	<b>Goal</b> 大切な人に宛てて手紙を書こう 3人の登場人物が大切な人に宛てた手紙を読んで、書き手のいちばん伝えたいことを読み取る。 ◇帯活動 ◆Read 3人の登場人物が書いた手紙を読んで、書き手の気持ちがよく伝わると思う部分に線を引く。 ◆それぞれの書き手のいちばん伝えたいことは何かを確認する。 ◆それぞれの手紙の文章の構成や表現を工夫について話し合う。 ◆自分にとって大切な人は誰か、その人にどんな気持ちを伝えたいかを考える。	●書き手がいちばん伝えたいことを知るために、手紙を読んで内容を理解している。 ■手紙を読んで、書き手の気持ちを考えようとしている。 (観察・ワークシート)
6	p.109	大切な人に宛てて自分の気持ちを伝える手紙を書き、読み合って感想を話し合う。 ◇帯活動 ◆教科書の例を参考にして、自分の気持ちを伝える表現を考えて、書き出してみる。 ◆手紙の下書きをする。 ◆手紙を清書する。 ◆グループで手紙を読み合い、感想を話し合う。 ◆活動をふり返って自己評価をする。	●大切な人に宛てて自分の気持ちを伝えるために、適切な表現を使って手紙を書いている。 ■自分の気持ちを伝えるのにふさわしい表現を探そうとしている。 (観察・ワークシート)

You Can Do It! 3	3年間を締めくくる言葉を考えよう	教科書ページ	p.110-111
		配当時間	2時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を織り込んだ詩から、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりすることができる。</li> <li>・好きな単語を織り込んだ詩を作ることができる。</li> </ul>	学習時期	3月
言語材料	語句   precious, importance 表現   Cheers!		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	単語を織り込んだ詩の内容を読み取ることができる。		○			
	単語を織り込んだ詩を書くことができる。					○
思考・判断・表現	書き手の気持ちや表現の工夫を知るために、単語を織り込んだ詩を読んで内容を理解している。		●			
	3年間を締めくくる言葉にするために、好きな言葉を織り込んで、適切な表現を使って詩を書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	単語を織り込んだ詩から、書き手の気持ちや表現の工夫を読み取ろうとしている。		●			
	3年間を締めくくる言葉としてふさわしい詩を作ろうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.110-111	単語を織り込んだ詩を読んで、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりする。 Reading ◆3つの詩を読んで、織り込まれた単語と詩の内容を理解する。 ◆書き手の気持ちが表れている部分や、表現を工夫していると思う部分に線を引く。 ◆自分が気に入った作品とその理由を発表する。	○単語を織り込んだ詩の内容を読み取ることができる。 ●書き手の気持ちや表現の工夫を知るために、詩を読んで内容を理解している。 ■単語を織り込んだ詩から、書き手に気持ちや表現の工夫を読み取ろうとしている。 (ワークシート)
2	p.111	好きな単語を織り込んだ詩を書いてポスターを作り、お互いの作品を読み合う。 Thinking ◆辞書や教科書から使ってみたい単語をいくつか選ぶ。 ◆選んだ単語を出し合って、みんなが参考にできるようにする。 Writing ◆織り込む単語を決めて、単語のそれぞれの文字から始まる言葉を考える。 ◆単語を織り込んだ詩を作る。 ◆考えた詩を用紙にまとめ、作品に仕上げる。 ◆作品をクラスで回覧して、コメントを書く。 ◆活動をふり返って自己評価をする。	○単語を織り込んだ詩を書くことができる。 ●3年間を締めくくる言葉にするために、好きな言葉を織り込んで詩を書いている。 ■3年間を締めくくる言葉としてふさわしい詩を作ろうとしている。 (ワークシート)

Let's Read More 1	The Runner Wearing Number 67	題材	オリンピック
		教科書ページ	p.129-130
教材の目標	・1964年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。	配当時間	2時間
		学習時期	3月
言語材料	語句 runner, 10,000-meter run, highlight, the National Stadium, spectator, pistol, lap, dash, shout, puzzled, wonder, Ceylon, speed, nobody, encouragement, understood, chosen, add, spirit 連語 go quiet in this particular race ~ or so drop out in the end be over all alone speed up hang in there cheer ~ on with tears in one's eyes one's side of the story be chosen to ~ That's what I did. back in my country		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 報告する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	受け身の文, 比較表現, 過去分詞による後置修飾, 間接疑問文などを正確に理解している。		○			
	1964年の東京オリンピックのエピソードを読んで, 内容を理解することができる。		○			
思考・判断・表現	1964年当時のオリンピックの様子やカルナナダ選手の思いを知るために, 文章のまとまりを意識してエピソードを読み, 概要や要点を捉えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	1964年当時のオリンピックの様子やカルナナダ選手の思いを知るために, 文章のまとまりを意識してエピソードを読み, 概要や要点を捉えようとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.129-130	<b>1964年の東京オリンピックの10,000メートル走の様子を読み取る。</b> ◆Before You Read タイトルや写真からエピソードの内容を推測する。 ◆エピソードを通して読み, おおよその内容を捉える。 ◆p.129 l. 13 までを読み, Q&A で内容の詳細を確かめながら, 1964年の東京オリンピックの10,000メートル走の様子を読み取る。	■文章のまとまりを意識してエピソードを読み, 概要や要点を捉えようとしている。 ●エピソードの概要を捉えている。 ○ p.129 l. 13 までを読んで, 内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
2	p.129-130	<b>カルナナダ選手がレースを完走した様子と彼の思いを読み取り, 彼が娘に伝えたかったことをまとめる。</b> ◆ p.129 l. 14 以降を読み, Q&A で内容の詳細を確かめながら, カルナナダ選手がレースを完走した様子と彼の思いを読み取る。 ◆After You Read カルナナダ選手が娘に伝えたかったことを, 自分の言葉でまとめる。 ◆カルナナダ選手やオリンピックの精神について感じることを話し合う。	○p.129 l. 14 以降を読んで, 内容を理解することができる。 ●エピソードの要点をふまえて, カルナナダ選手の思いを自分の言葉でまとめている。 (観察・ワークシート)

Let's Read More 2	Visas for 6,000 Lives	題材	戦争と生き方
		教科書ページ	p.131-133
教材の単元	・杉原千畝の伝記から、彼の行動と意思を読み取ることができる。	配当時間	3時間
		学習時期	3月
言語材料	語句 visa, Kaunas, Lithuania, Poland, Jewish, escape, Nazi, issue, permission, refuse, Foreign Ministry, knew, risk, short, silence, wheel, telegram, Berlin, platform, forgive, trader, Israeli, diplomat, kindness, courage, forgotten 連語 escape from ~ pass through ... ask for ~ day and night join hands Good luck! (even) as ~ hand ~ out with tears in one's eyes, a piece of paper		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	受け身の文や現在完了形、現在完了進行形、If...の仮定法の構文などについて正確に理解している。		○			
	伝記を読んで内容を理解することができる。		○			
思考・判断・表現	第二次世界大戦中の杉原千畝の勇氣ある行動を知るために、出来事の経過を整理しながら伝記を読み、出来事と杉原の意思を捉えている。		●			
	読み取った出来事や杉原の意思をもとに、杉原の行動の理由を考えたり、感想を伝えたりしている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	第二次世界大戦中の杉原千畝の勇氣ある行動を知るために、出来事の経過を整理しながら伝記を読み、出来事と杉原の意思を捉えようとしている。		■			
	読み取った出来事や杉原の意思をもとに、杉原の行動の理由を考えたり、感想を伝えたりしようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.131-133	物語の舞台、時代・社会背景を理解し、日本領事館にユダヤ人が集まった経緯を読み取る。 ◆Before You Read 物語の時代背景を理解し、タイトルや写真から内容を推測する。 ◆全文を通して読み、おおよその内容を捉える。 ◆p.131を読んで、内容の詳細を確かめる。	■出来事の経過を整理しながら伝記を読み、出来事と杉原の意思を捉えようとしている。 ○p.131を読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
2	p.132-133	杉原千畝の苦悩と決断、その後の彼の行動を読み取る。 ◆p.132からp.133の1.8までを読んで、内容の詳細を確かめる。	○p.132からp.133の1.8までを読んで内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
3	p.131-133	終戦後の出来事を読み取り、杉原千畝の行動と意思について話し合う。 ◆p.133の1.9以降を読んで、内容の詳細を確かめる。 ◆伝記を読み直し、出来事の経緯を整理する。 ◆After You Read 杉原千畝が"I must help these people."と思った理由を考えて話し合う。 ◆杉原千畝の行動と意思について感想を話し合う。	○p.133の1.9以降を読んで、内容を理解することができる。 ●出来事の経過を整理しながら伝記を読み、出来事と杉原の意思を捉えている。 ■読み取ったことをもとに、考えや感想を伝えようとしている。 ●読み取ったことをもとに、考えや感想をまとめて伝えている。(観察・ワークシート)

Let's Read More 3	The Adventures of Tom Sawyer	題材	物語
		教科書ページ	p.134-136
教材の単元	・『トム・ソーヤーの冒険』の1節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。	配当時間	3時間
		学習時期	3月
言語材料	語句 bright, appear, brush, fence, unlucky, gently, result, replied, rather, chance, add, carefully, slowly, paid, right, plaything, discover, law 連語 sit down say to oneself at that moment come to ~ turn from ~ would rather ~ What do you mean? Do you mean that ~? step away not every ~ can ... I'm afraid ~. by the middle of ~		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	不定詞の副詞的用法や形容詞的用法, let + 人 + 動詞の原形, 疑問詞 + to + 動詞の原形などについて正確に理解している。		○			
	『トム・ソーヤーの冒険』の1節を読んで内容を理解することができる。		○			
思考・判断・表現	話のおもしろさを味わうために、物語のあらすじをつかみ、登場人物の行動と気持ちを読み取る。		●			
	トムが発見した人間行動の法則について、読み取ったことや自分の経験を整理しながら考えをまとめ、伝え合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	話のおもしろさを味わうために、物語のあらすじをつかみ、登場人物の行動と気持ちを読み取ろうとしている。		■			
	トムが発見した人間行動の法則について、読み取ったことや自分の経験を整理しながら考えをまとめ、伝え合おうとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.134-136	物語のおおよその内容を捉え、壁塗りの仕事をしなければならぬトムの気持ちを読み取る。 ◆Before You Read 『トム・ソーヤーの冒険』について知っていることを話し合ったり挿絵を見たりして、話の内容を推測する。 ◆全文を通して読み、あらすじをつかむ。 ◆全文を通して聞き、登場人物同士のやり取りのイメージをつかむ。 ◆p.134を読んで、内容の詳細を確かめる。	■話のおもしろさを味わうために、物語のあらすじをつかみ、登場人物の行動と気持ちを読み取ろうとしている。 ●物語のあらすじをつかんでいる。 ○p.134を読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
2	p.135-136	トムの壁塗りを見ながらベンが変な様子になっていく様子を読み取る。 ◆p.135からp.136の1.5までを読んで、内容の詳細を確かめる。	○p.135からp.136の1.5までを読んで、内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
3	p.136	物語の最後の部分を読み取り、話のおもしろさを味わったり、人間の行動について考えたりする。 ◆p.136の1.6以降を読んで、内容を確認する。 ◆After You Read 1 トムが発見した人間行動の一大法則について述べた文に線を引く、内容を確認する。 ◆After You Read 2 その法則は正しいと思うかどうか、自分の経験などの具体的な説明を入れながら、考えを伝え合う。 ◆物語で面白かったところと感想を発表し合う。	○p.136の1.6以降を読んで、内容を理解することができる。 ●登場人物の行動と気持ちを読み取り、トムが発見した人間行動の一大法則について理解している。 ■トムが発見した人間行動の法則について、読み取ったことや自分の経験をふまえて考え、伝え合おうとしている。 ●トムが発見した人間行動の法則について、読み取ったことや自分の経験を整理しながら考えをまとめ、伝え合っている。(観察・ワークシート)